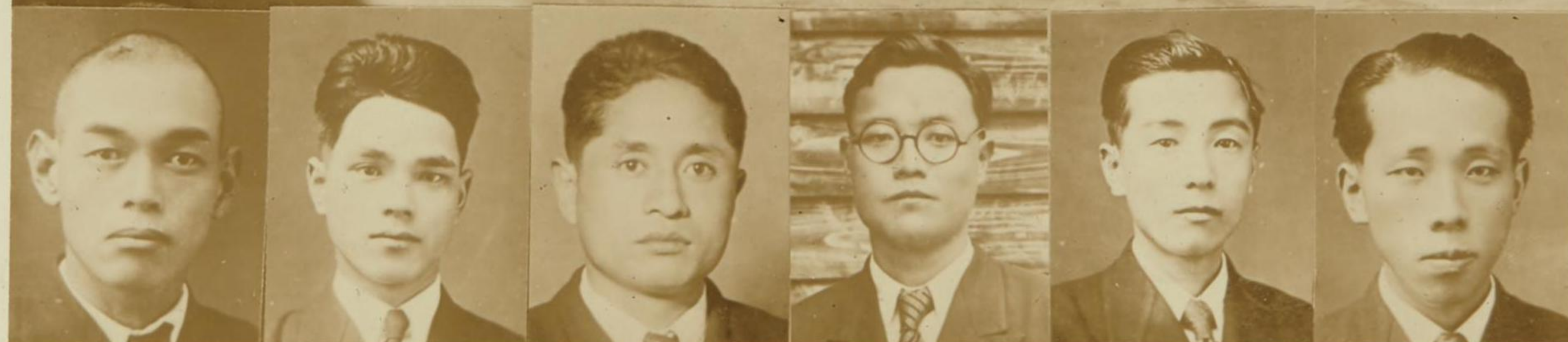
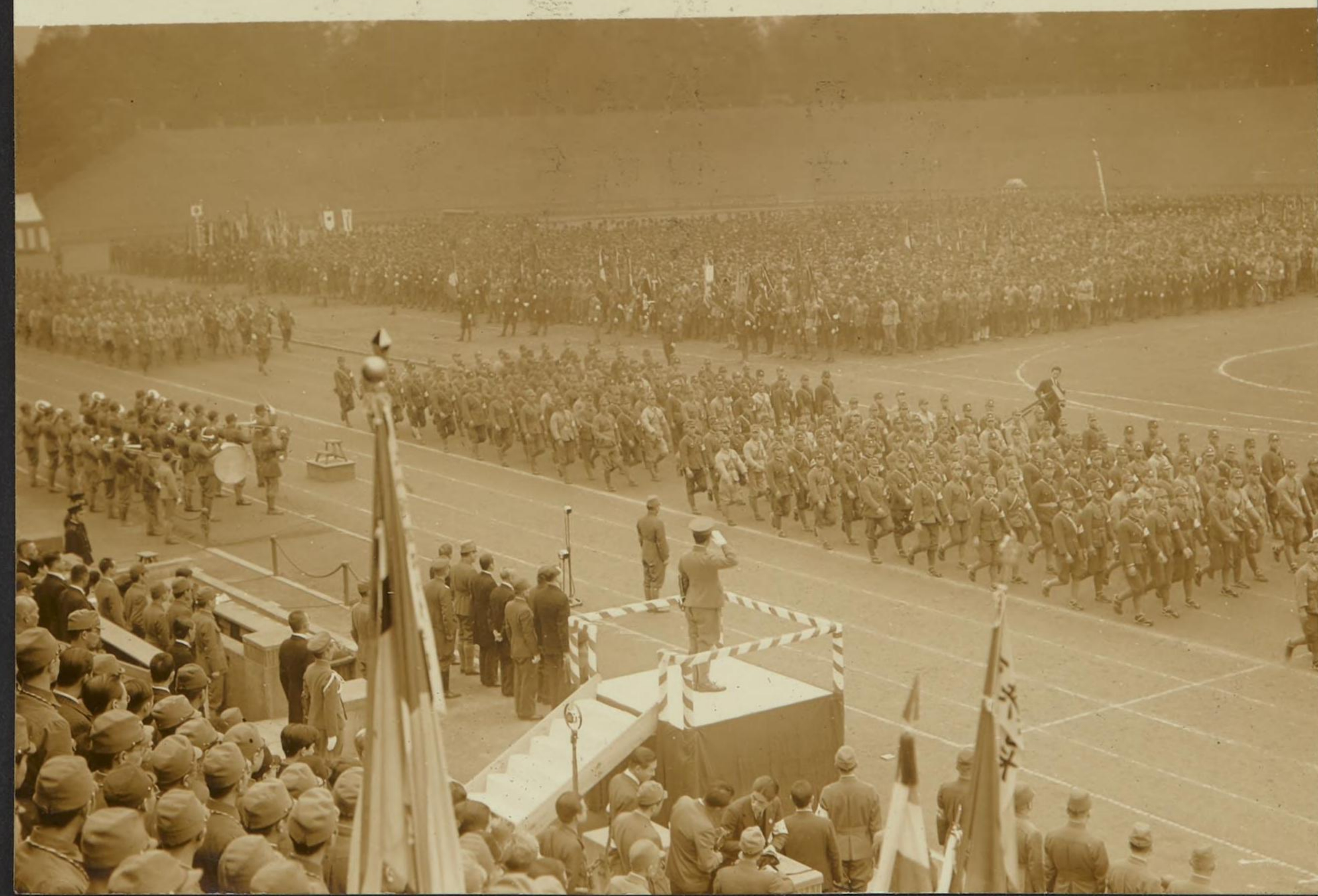
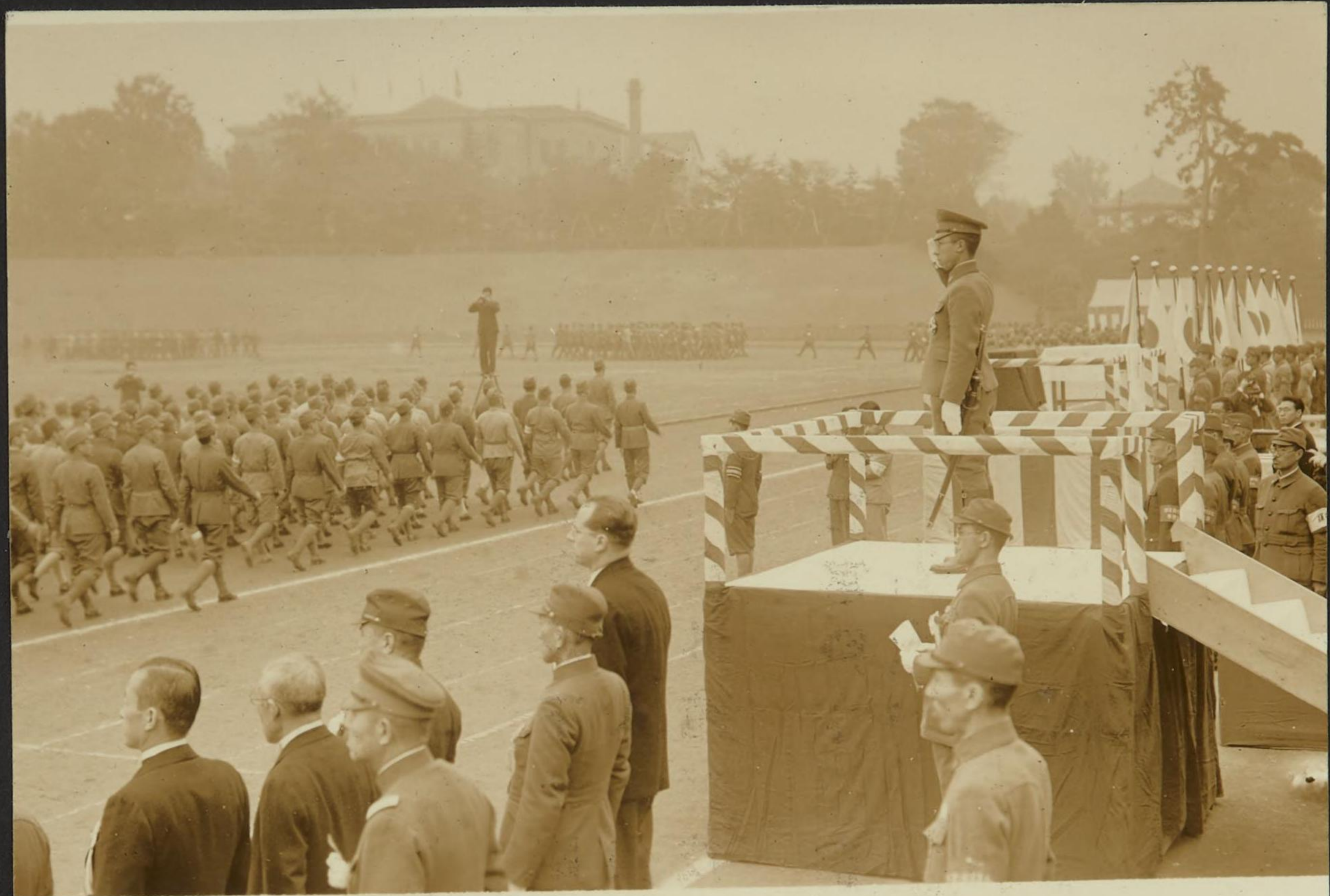




皇國海軍航空隊
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部
陸軍省航空部



興亞の若人二萬人が集ふ奉祝青少年大會
第二日は神宮外苑競技場其他で盛大に舉
行された。
御意慮は三笠宮殿下台臨の同大會（二種）



同盟黨眞

第十一十三號

十五年十一月廿一日

◎兩陛下帝都に還幸啓
 天皇皇后兩陛下には義官様、清官様と御
 共に二十一日午後三時五分東京驛御着車
 の宮廷列車にて葉山御用邸より帝都に還
 幸啓遊ばされた。
 御寫眞は東京驛前にて謹寫



◎妃殿下御五方横須賀海軍病院御慰問
日本赤十字社篤志看護婦人会總裁梨本宮
妃伊都子殿下並に皇族各妃殿下には廿日
午后一時卅分横須賀海軍病院に成らせら
れ親しく白衣の勇士を御慰問遊ばされた
御寫眞は御左より梨本宮妃殿下、保利病
院長、東伏見宮大妃殿下、久邇宮大妃殿
下、伏見宮故博義王妃殿下、李健公妃殿
下、横須賀鎮守府貸下、
◎洪國三國同盟へ参加
歐洲唯一のアジア民族國家のハンガリー
國は廿日日獨伊三國同盟に新に参加、世
界新秩序建設に邁進することになつた
寫眞は喜びのハンガリー公使館一右より
二人目ギガ公使、今岡十一郎氏、ハバ
ンバ

情報官





同盟寫眞

第十四

十六號

十五年十一月廿二日

◎故國へ放送のギガ公使

ハンガリーのギガ公使は廿二日午前四時
廿五分から十分間A区を通じて故國へ向
け盟邦の喜びを語る録音放送をした
寫眞は放送中のギガ公使

同盟寫眞 第十一十三號 十五年十一月廿二日

◎奉祝歌劇「夜明け」
山田耕生氏作曲紀元二千六百年奉祝歌劇
「夜明け」が半年がかりで完成し廿一日
午後六時半から内幸町のコロムビア吹込
室で山田氏指揮の下に藤原義江、辻輝子
等の諸氏に依り舞台そのまゝの扮装でレ
コード吹込が行はれた。
寫眞は同吹込に右端が山田氏



◎上野動物園
宣旨は上野動物園の
がこの程生れた赤らやん、兄弟で小さい方
和十二年七月十一日生れの兄さんの高身君
で最近になつて尙傷病だと判明成程見る
からに恰好が變てゐる
◎女子青年國大會
大日本聯合女子青年國大會第二日目の廿
二日は令旨奉戴廿周年記念日として大會
の意義を更に深めた。
宣旨は芝公園競技場に於て同大會の分列
式



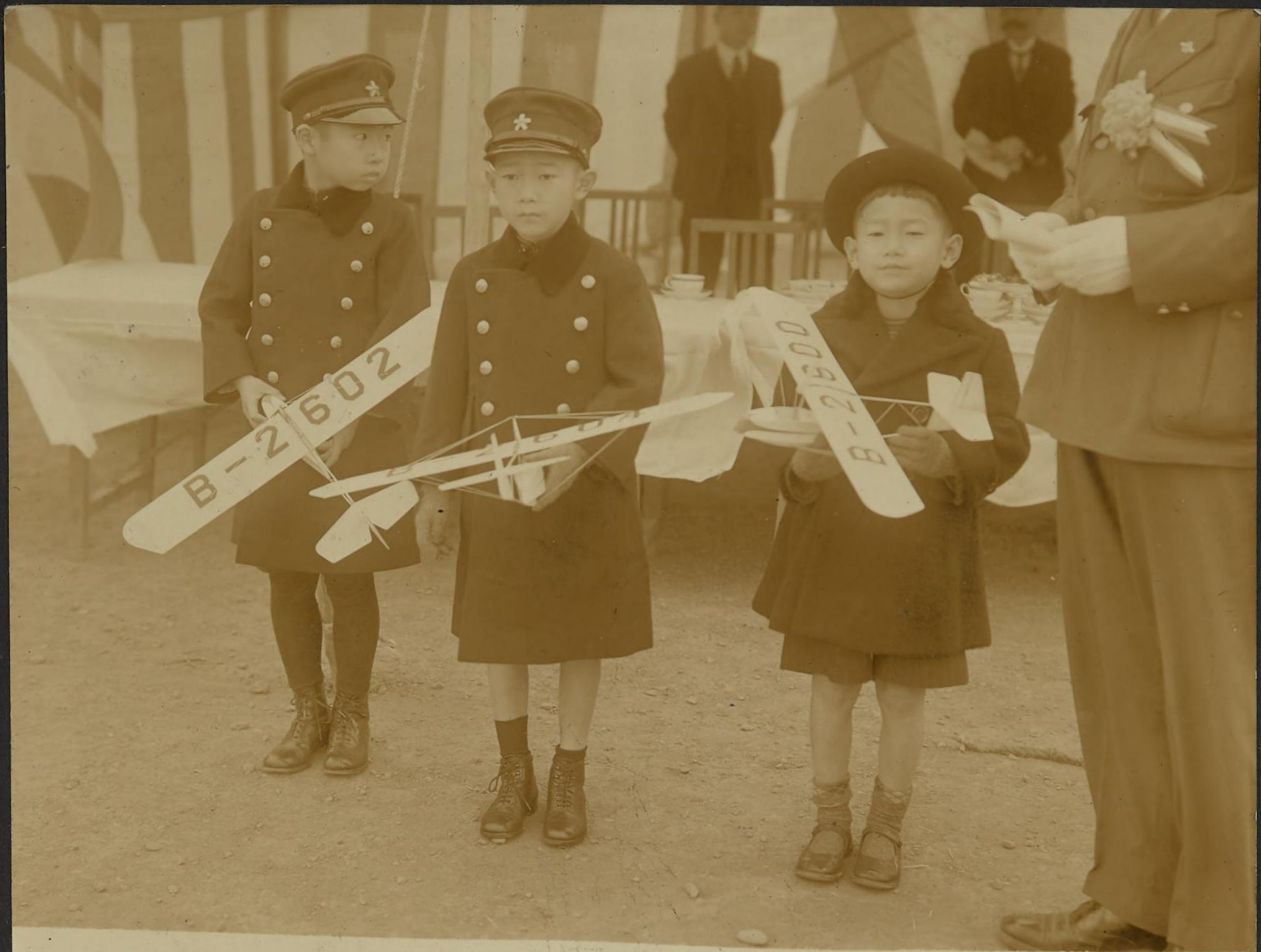
◎ 武庫業報の会結成式

我々全武庫業報の会結成の新体制を確立する
大目録を武庫業報の会結成の会報に添付する
前九時より九時半の間に会報の刊行を
行い、会報の発行と同時に明治神宮の奉告
書をおく。市甲の記念式は、後述の如く
別段記す。下会を武庫業報の会報に添付
す。以上は明治神宮奉告書の一切を
武庫業報の会報に添付す。



◎ 櫻形花の核大会

大泉少年団が拾三田櫻形花の核大会
三月十日午前十時(午後)外口木橋集会所
午後七時 柳川温泉 柳川より赤子新公橋
赤子新公橋 伏見宮内省明王殿下(大会場は薄曇り)
大会



同監宮女三十一人

拾一月廿四日

日園公病よく厚し

其一



宮女は夏色加はる坐澳莊、(階下が病室)、
と有見舞坪に時差遣の百武待絶長(左)と
白皇太后使大谷、(皇太后太夫(左)全興津
へ見舞坪に赴く近郷)首相二十四日午九時
東京殿より





① 女子会館 式成 (三十四年九月)

全国女性の修練道場として重要の役
を果した、ある、芝公園内の女子会館は
三十四年落成式を成行に
行つた。式成は、
芝公園内の視察と、
会館全景、



同明寫眞 第七十六號

十五年十一月廿五日

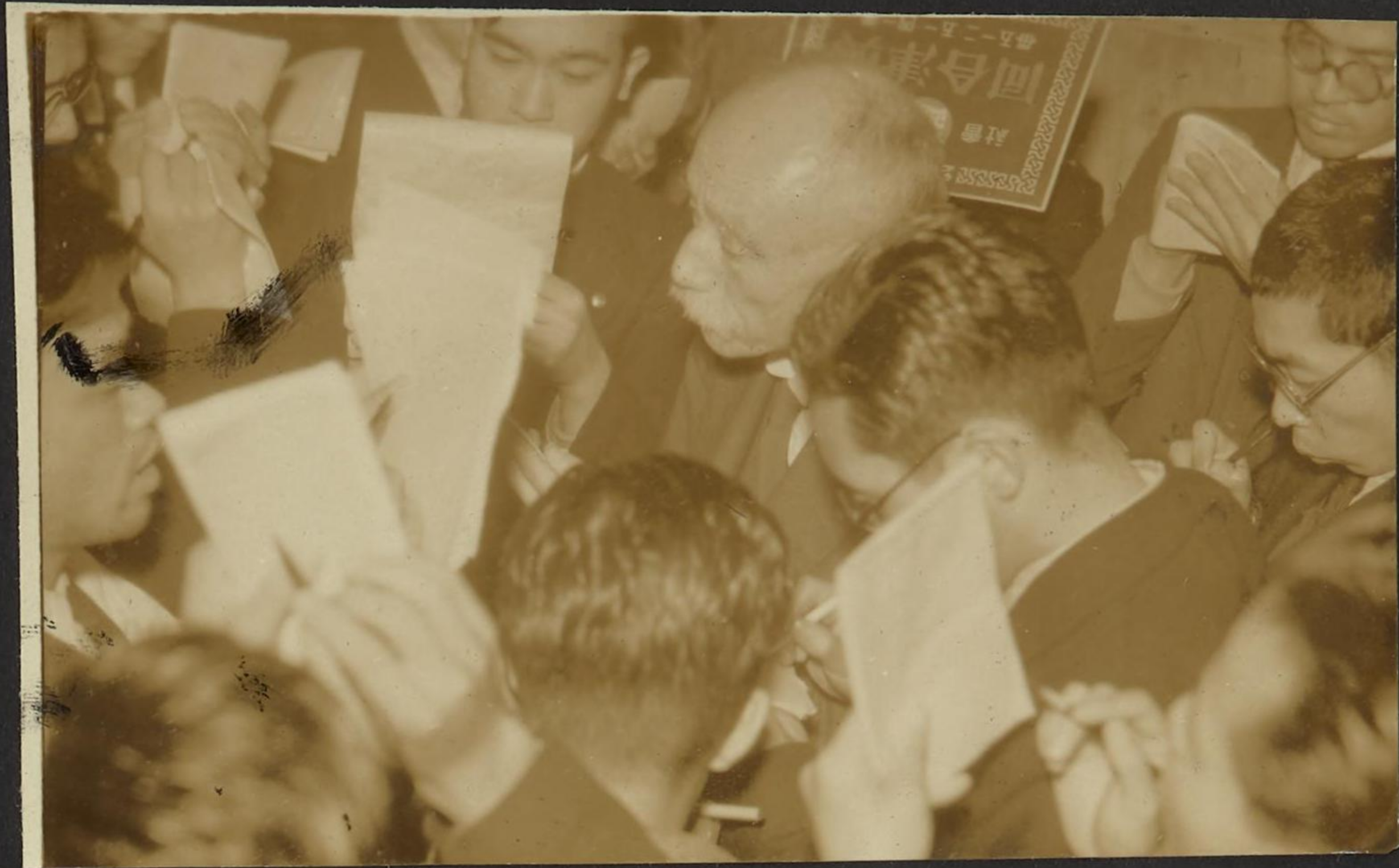
○西園寺公薨去

元老正二位大勳位公爵西園寺公望氏は廿四日午后九時五十四分靜岡縣興津町の別邸坐漁莊で薨去した

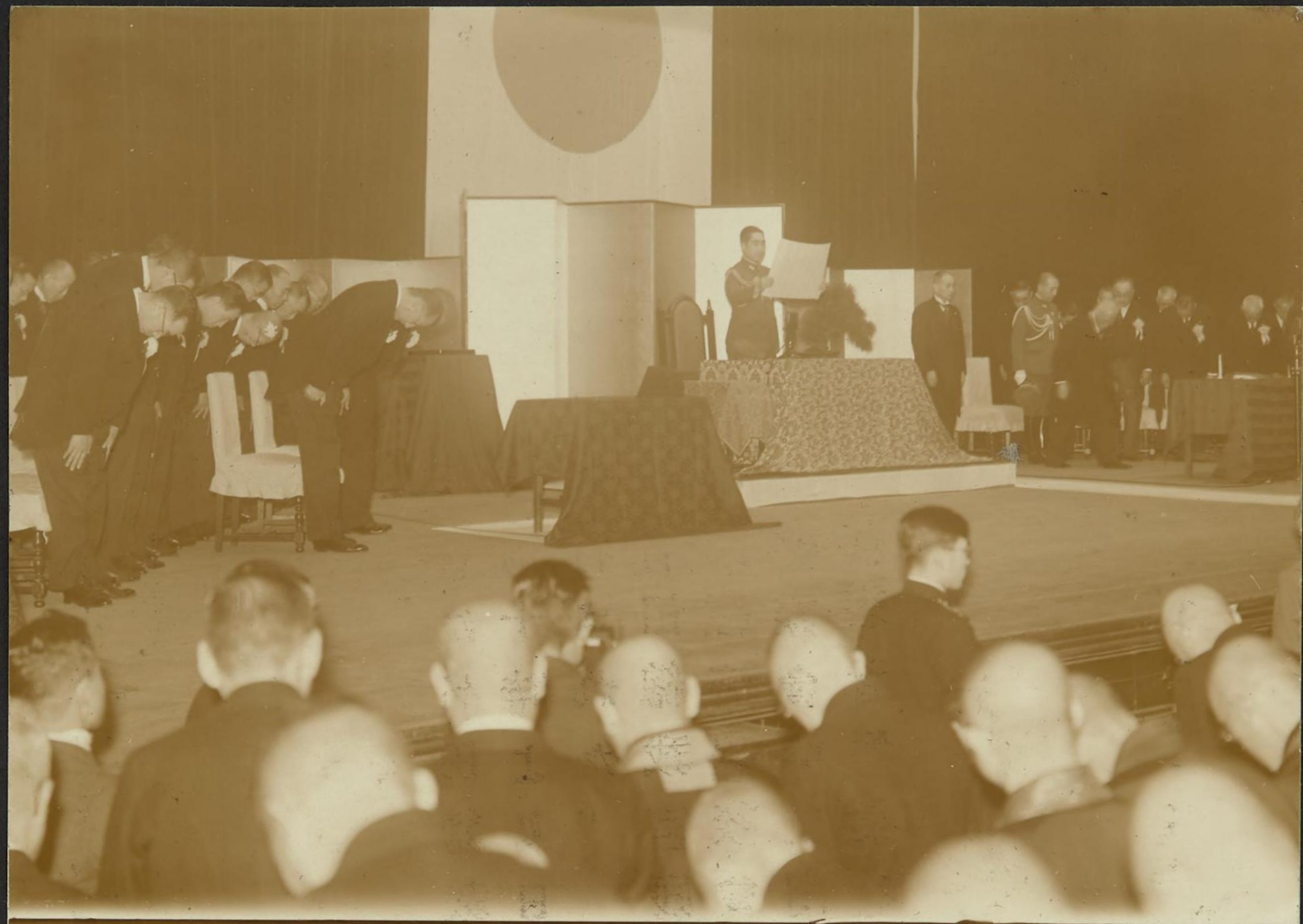
寫眞は

- 一、薨去發表の熊谷執事
- 一、發表直後坐漁莊前の大混亂
- 一、坐漁莊前にて哀悼の興津町民

(以上廿四日寫す)



○全日本司法保護事業大會
輝く年を祝福して司法保護報國精神を昂
揚する紀元二千六百年記念全日本司法保
護專業大會は竹田總裁官殿下台臨の下に
廿五日午前十時より日比谷公會堂に於て
盛大に舉行された。
御寫眞は竹田總裁官殿下令旨
○東亞經濟懇談會
東亞經濟懇談會第二回總會は日滿支蒙各
地よりの代表者參集のもとに廿五日午前
九時より帝國ホテル會議室に於て開催さ
れた。寫眞は河田藏相の演説



同盟寫眞

第十一十六號

十五年十一月廿六日

◎阿部大使歸任

阿部特命全權大使は廿六日午前六時四十分羽田空港發南京に向つて元氣よく歸任の途に就いた。

寫眞は羽田で飛行機に乗込む阿部大使

◎駐米大使に決定の野村大將

外交新布陣の重大な一石として新駐米大使に野村吉三郎大將と決定した廿五日夕港谷區南平合の同邸に於て寫眞の如く石礎落な態度で日米外交の信念を語つた



①あゝ西園寺公
老公を失つた悲愁の町興津では廿五日夜
町が主催となつて坐漁莊向隣の家にて西園
寺邸貸下の園公の紋付羽織と寫眞を飾つ
て町民擧つて熱誠あふるゝ通夜が行はれ
た
寫眞は一、興津町主催のお通夜
一、悲愁に閉された廿五日夜の坐
漁莊



同 聖 憲 眞

第 十 一 十 五 號

十 五 年 十 一 月 廿 七 日

◎ 皇 后 皇 太 后 兩 陛 下 博 物 館 行 啓

皇 后 皇 太 后 兩 陛 下 には 廿 七 日 午 前 十 時

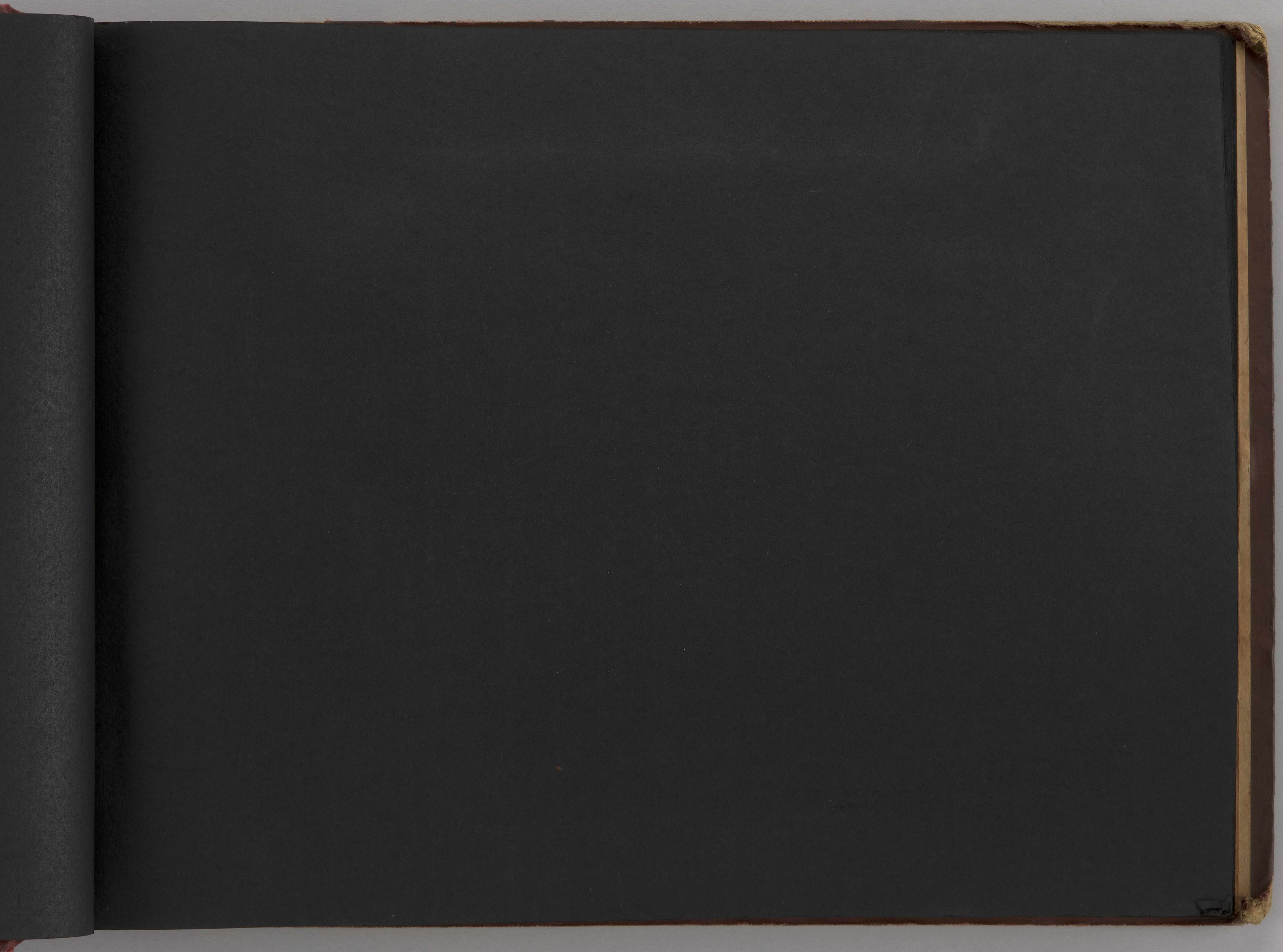
半 頃 上 野 の 帝 室 博 物 館 行 啓 正 倉

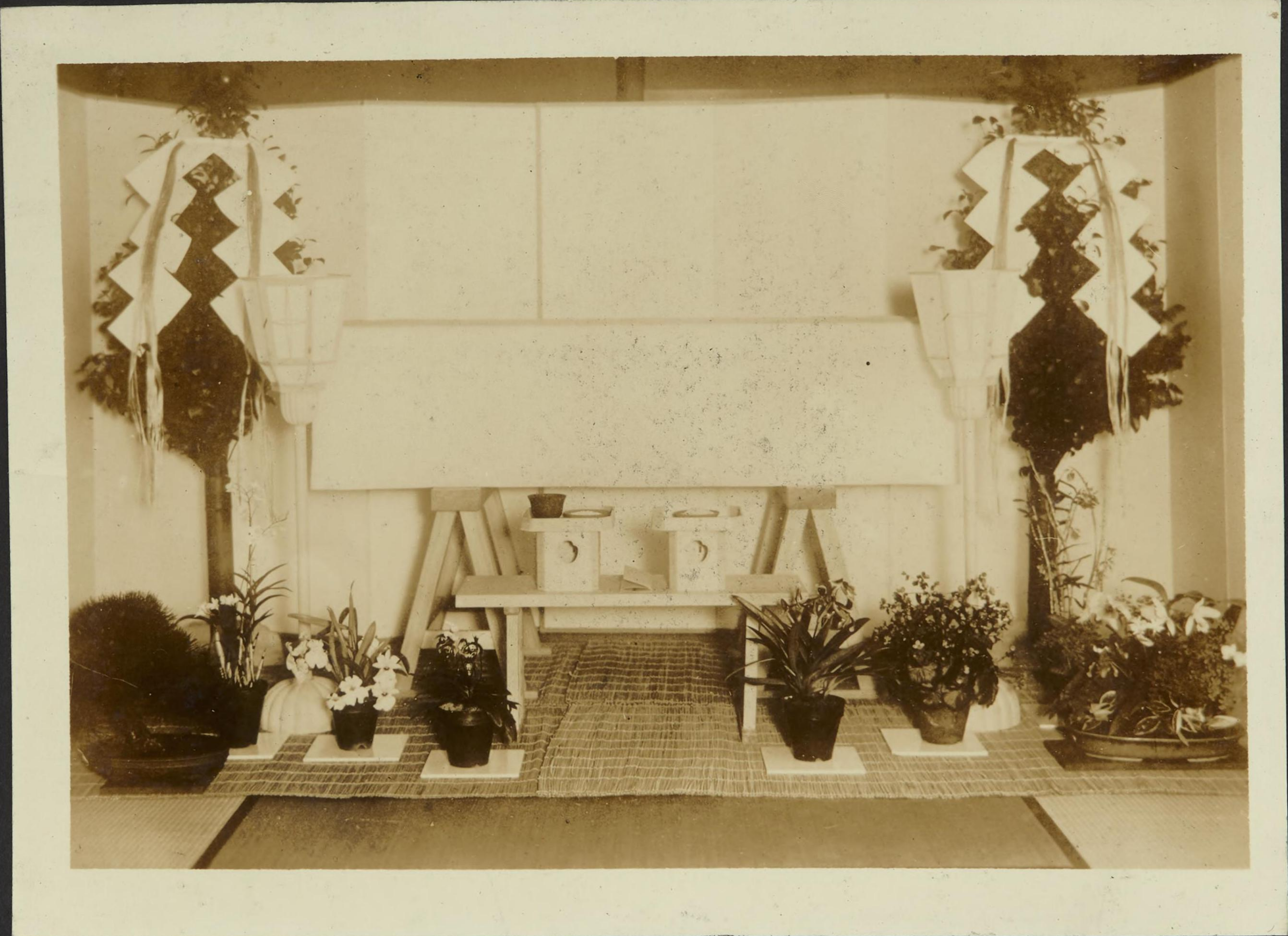
院 御 物 を 親 しく 台 覽 せ ら れ た

御 寮 には 御 物 を 台 覽 遊 ば さ れ る 兩 陛 下

(官 内 省 記 爲)







同通寫真部十一月廿一日

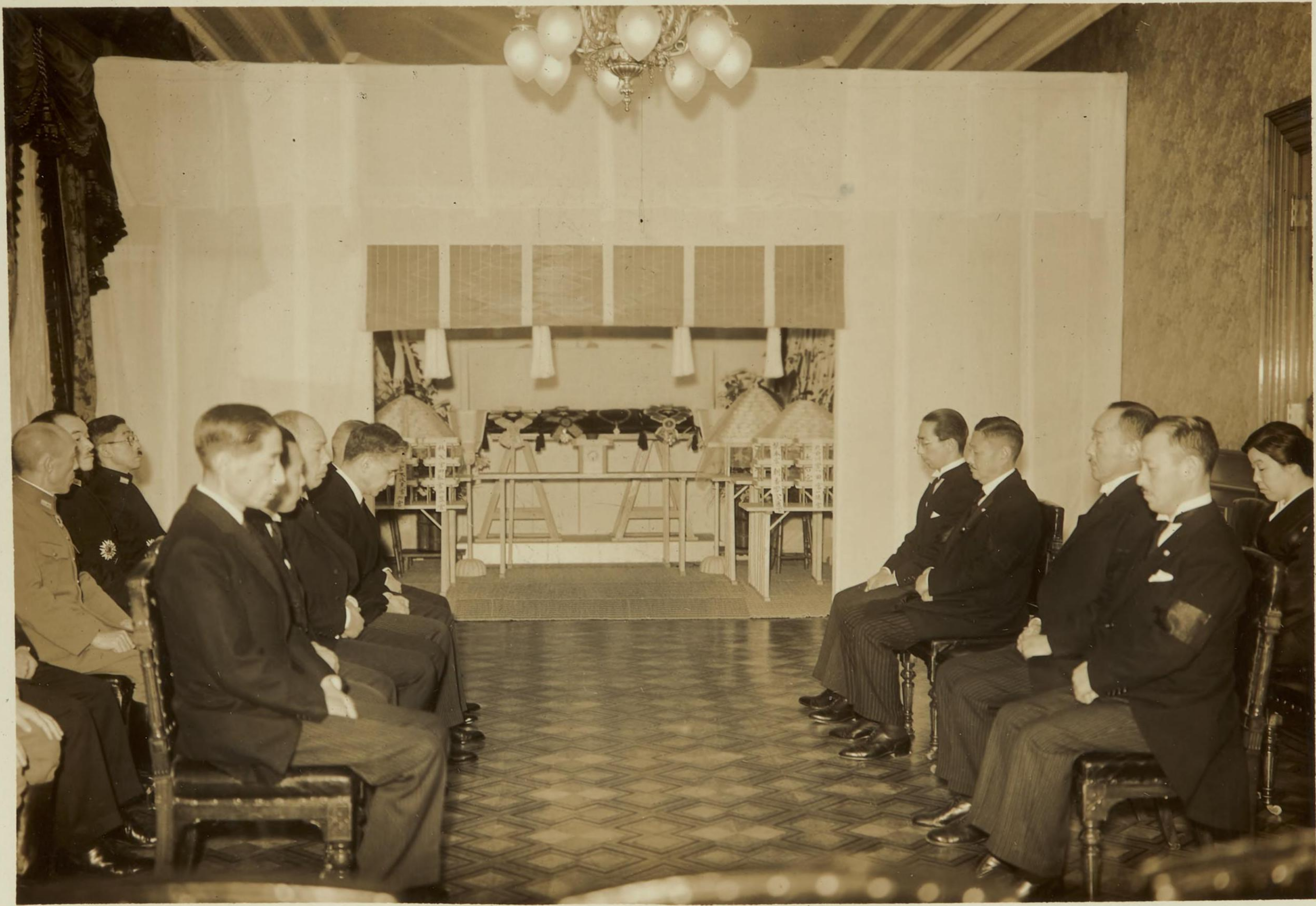
中二便

◎西園黄公、非心一き、お通夜

西園黄公の靈柩は廿日午右三時過
外相官邸にあり、正寢の間安置、
正寢移柩の儀が嚴に執り行はれ、後
葬儀は又葬委員の手に移り、夜
をこめて通夜が行はれた。

寫真は、

- 一、外相官邸に於ける葬一き通夜
- 一、坐談狂者ある靈柩
- 一、葬列を送る興津町民



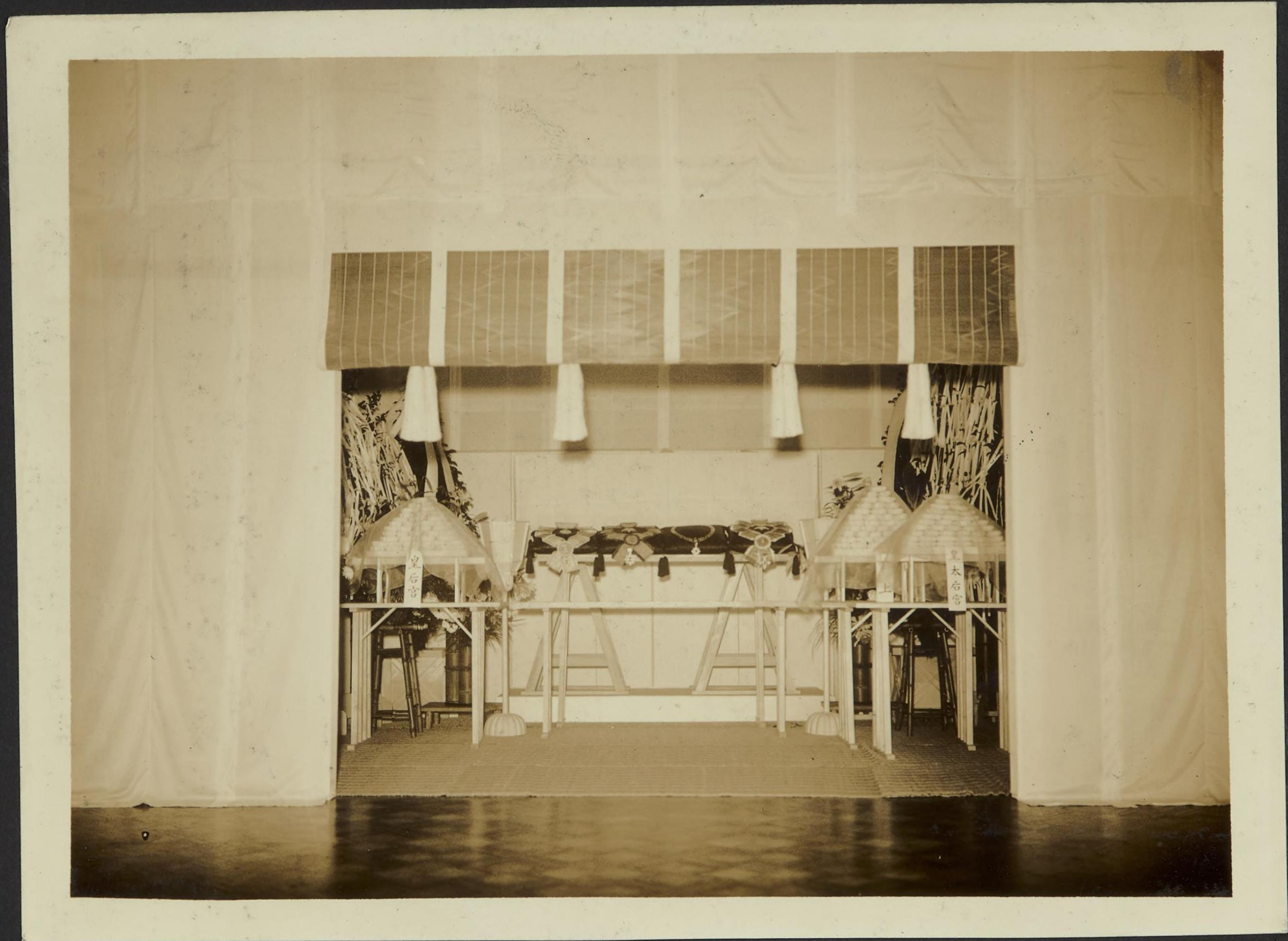




○園公遺骸東京歸着
故西園寺公の遺骸はその安置所に當てら
れた外相官邸に移されるため廿八日午前
十一時十五分與津發特別靈柩列車で東京
に向つた。靈柩は
一、園公の靈柩東京歸着、靈柩の右は原田男左が八郎氏
一、東京歸より外相官邸に向ふ靈柩車
一、外相官邸内に安置された靈柩









同明寫眞

第十三十八號

十五年十一月廿八日

◎議會行幸予行

明廿九日議會開院五十周年記念式典に天皇陛下の行幸を仰ぐため廿八日の同定刻に寫眞の如く萬全を期した行幸豫行が行はれた



男子中等學校生徒制服が廿七日文部省の
制服協同会で制定發賣された
外套も制定された
寧ろはその制服で帽子

①綾波號歸還
バラオー淡水二千八百キロの空の開拓に
成功して綾波號は目出度く廿七日午後三
時二十分横濱空港に歸還した、
軍には歸還の綾波號と同乗組員（左端が
岡野機長）



同日寫眞 第十一十五號 十五年十一月廿九日

○議會開設五十周年記念式典

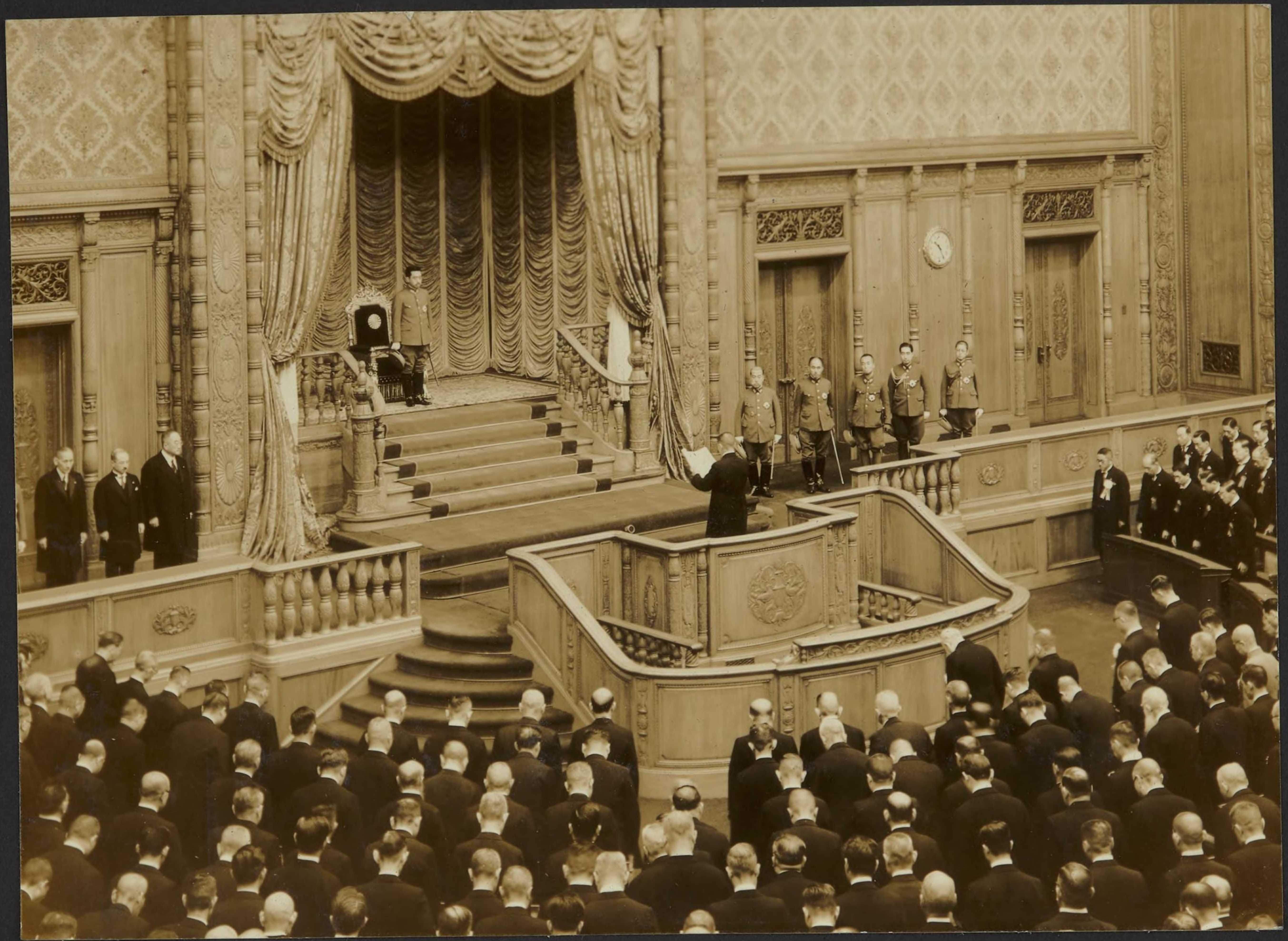
帝國議會開設五十周年式典は十一月廿九日
午前十時過より畏くも天皇陛下の親臨を仰
ぎ第一議會當時からの元議員を始め貴衆兩
院關係者二千余名を招き白亜の殿堂で盛大
に舉行された。

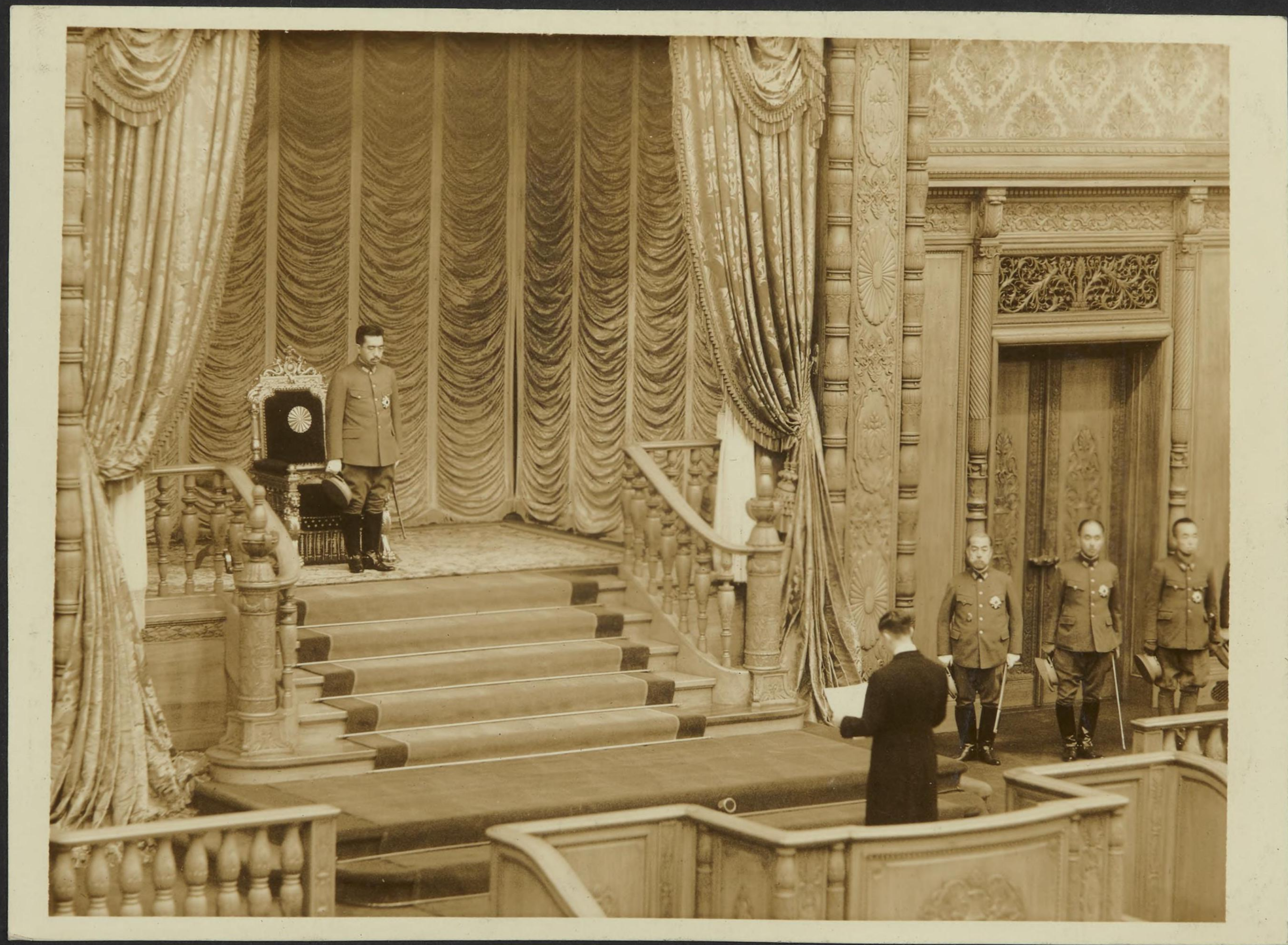
御寫眞

- 一、 函海議事堂に御着
- 一、 式場に臨御の天皇陛下
- 一、 御前にて松平貴族院議長の式辭朗讀
（全景）
- 一、 同近衛首相の祝辭朗讀
- 一、 譽れの單獨拜謁者
前列右より山本達雄男、青木信光子、
千秋季隆男、木場貞長氏
後列右より前田利定子、柳原義光伯、
梅小路定行子











同盟寫眞

第十六・十七號

十五年十一月廿九日

○「南京入城圖」
大山元帥の奉天入城圖を描いて名を馳せた
鹿子木孟郎畫伯は此度「南京入城圖」を描
き陸軍省に獻納することゝなつた
寫眞は「南京入城圖」



大 陸 活 躍 中 だ っ た 近 衛 首 相 の 御 曹 子 文 隆
伍 長 は 廿 八 日 午 后 東 京 驛 着 の 列 車 で 大 陸 灼
け の 災 災 を 輝 や か せ て 歸 還 し た
憲 原 は 東 京 驛 着 の 文 隆 伍 長





同照寫眞

第十六十七號

十五年十一月廿日

○伊國ム首相へ記念品

伊太利大使館に於て三十日、日獨伊婦人會よりムツソリーニ首相へ親善の誠意をこめた記念品を贈呈した

寫眞は同代表委員荒木光子夫人よりマキ一等書記官夫人を通じて記念品の傳達

○ 東伏見宮大妃殿下失明軍人寮へ
東伏見宮大妃殿下には三十日午後一時半
冷雨に煙る大塚の失明傷者軍人寮へ御慰
問のためお寄り遊ばされた
御寮には作業中の失明軍人御視察の大妃
殿下



◎日華條約調印成立

南京に於ける日華條約調印目出度く成立の事は三十日午後一時外務省に於て須磨情報部長より記者團に發表され大東亞民族の慶祝の聲は全土から湧き起つた
寧ろは

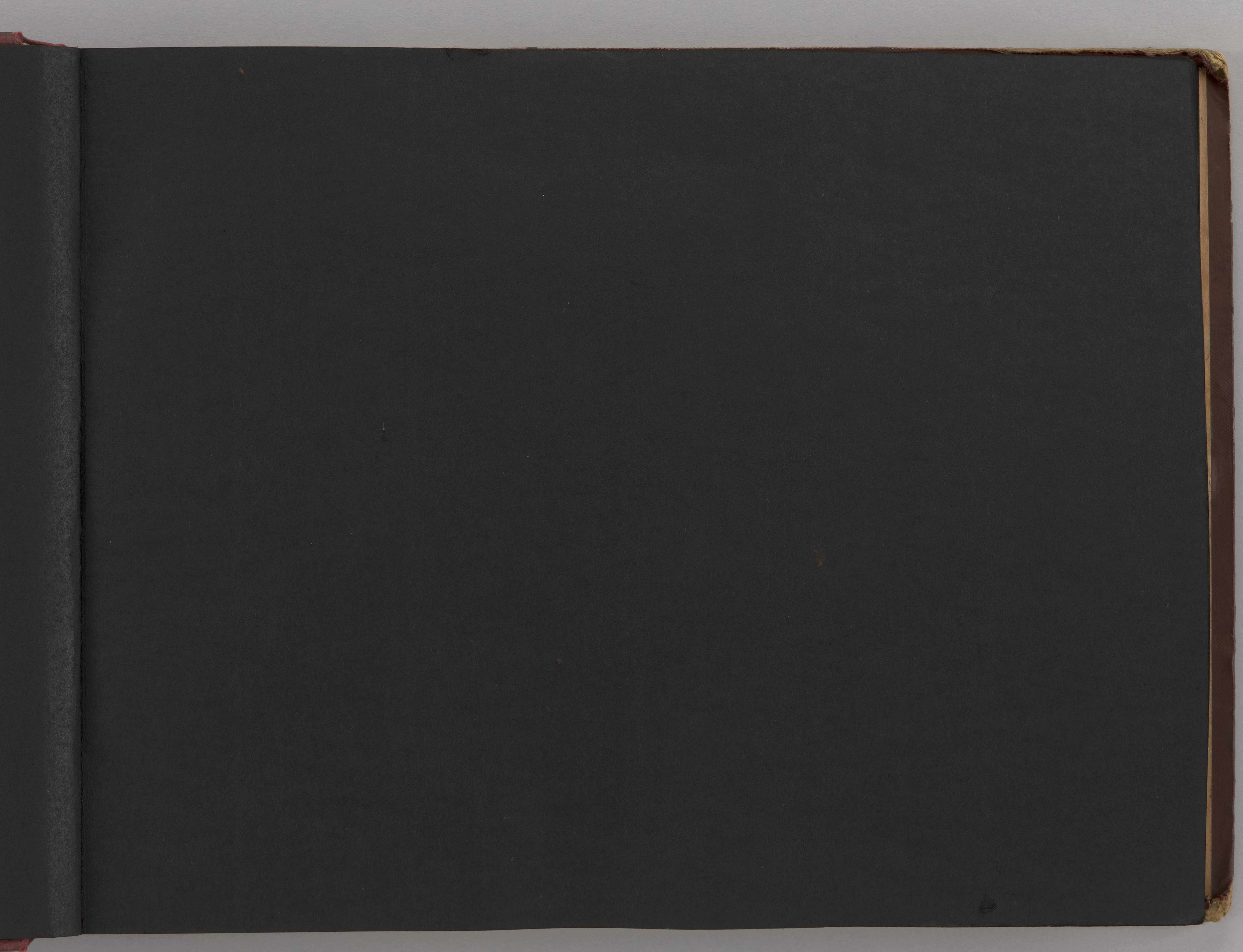
- 一、須磨情報部長の發表
- 一、喜びの中華民國駐日辦事處
- 一、同上辦事處庭前の國旗揚揚式
- 一、滿洲國大使館に於ける日華條約調印

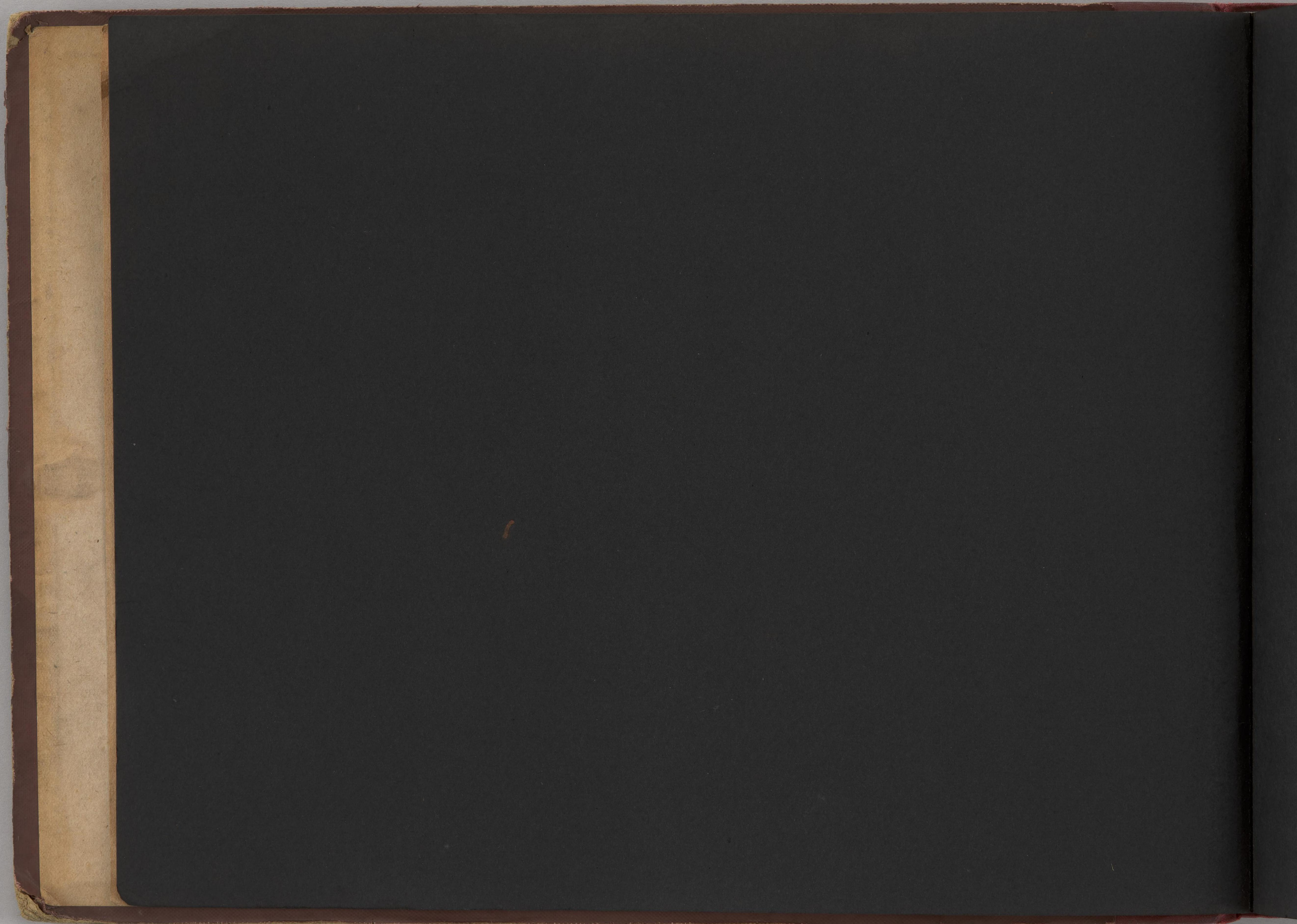


の祝賀▽印が大使

一、軍人會館に於いて東亞經濟懇談會會
衆八田嘉明氏の發聲にて日華調印慶
祝萬歲

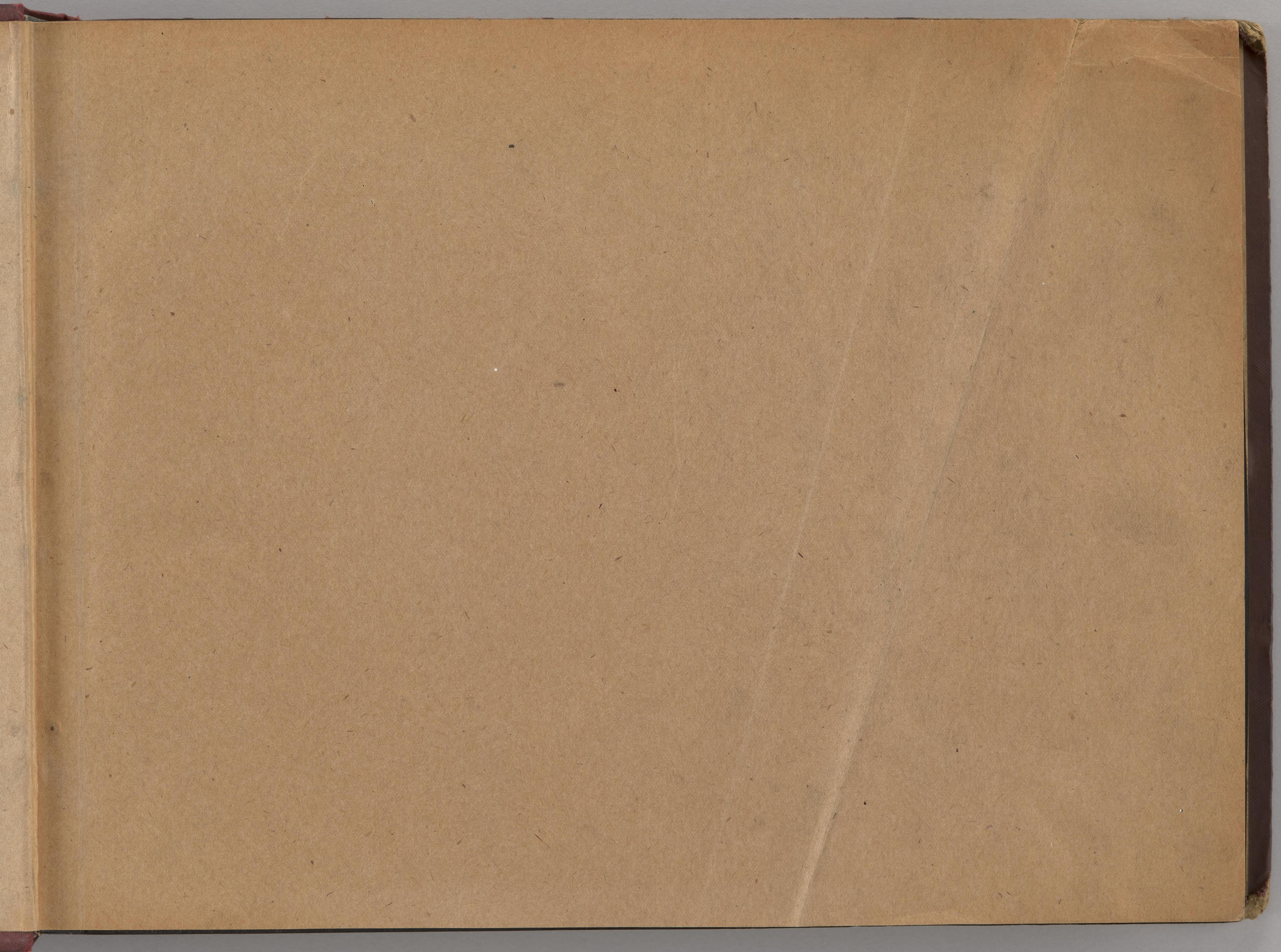












53
52

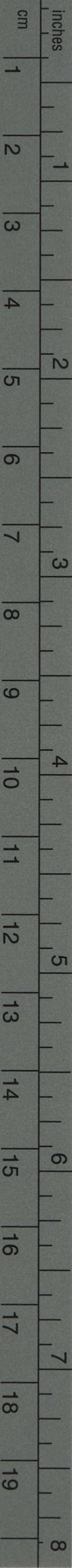


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

